陳　情　文　書　表

受理番号	陳情３第３８号	受理年月日	令和３年１１月１２日
件　　名	これまでに民営化した園を含む目黒区内保育園の実態調査を求める陳情		

【陳情の趣旨】

区立保育園の民営化計画を進めるには、すでに民営化された５園、および過去数年間で急増した私立園を含む区内保育園における実態調査を踏まえ、民営化のメリット・デメリットを保護者に示し、理解を得ることが必要です。私たちは、民営化の対象園となっているひもんや保育園の保護者２０名です。区立園で満足のいく保育の提供を受けている保護者として、民営化が本当に子どもたちの利益となるのか判断しかねています。私たちが最も重視するのは「今後も子どもを安心して預けられるのか」という点ですが、現時点で十分な説明がされていません。

先般、近年民営化された園で、民営化後に不適切な保育が行われたとの情報提供がありました。内容は令和元年秋「１～２歳の子どもが他児のおもちゃを取ろうとしたことをきっかけに、職員１名がその園児の頭をわしづかみにして勢いよく押し、顎をつかんで左右に揺らした場面を保護者が目撃した」というものです。保護者が区に問い合わせ、約４か月後に郵送で受け取った回答には、「職員の配置は適正に行われている」とし、改善に向けた具体的な取組については記載がなかったそうです。本件について、令和３年１０月１７日にひもんや保育園の保護者向けに実施されたオンライン説明会において区の担当者に質問したところ「把握していない」との回答でした。

ある民営化園の第三者評価の利用者アンケートの結果をみると、民営化が順調に進展しているとは思えません。

以下、当該民営化園とひもんや保育園の調査結果（東京都福祉サービス第三者評価）を一部抜粋したものです。

	民営化園（令和元年度）	ひもんや保育園（令和２年度）
満足度	７割近く	９３．９％
５．保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	はい：８１％ どちらとも言えない：６％ いいえ：０％	はい：５４％ どちらとも言えない：２０％ いいえ：１１％
６．安全対策が十分取られていると思うか	はい：３４％ どちらとも言えない：３４％ いいえ：２８％	はい：７３％ どちらとも言えない：２３％ いいえ：４％
８．子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	はい：５０％ どちらとも言えない：３８％ いいえ：１３％	はい：９３％ どちらとも言えない：６％ いいえ：１％

１１．病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい：５６％ どちらとも言えない：２５％ いいえ：１６％	はい：９１％ どちらとも言えない：５％ いいえ：０％

保育時間や行事日程の柔軟性については民営化園のほうが良好な結果となっていますが、私たち保護者が最も懸念する安全対策や園との信頼関係等の項目では、民営化園の評価が極端に低くなっています。なお、本民営化園のアンケート結果について区は計画素案の中で「満足度が良好」と総括しています。

今回の計画素案では「民営化に当たって配慮していく事項」として、子どもの最善の利益が図られるよう、次の点を踏まえて進めていくと明記されています。
（１）保育の質を確保し、多様な保育サービスの提供が図られるよう、東京都内で６年以上の認可保育所運営実績を有する適切な保育事業者を、区の選定委員会において選定します。
（２）子どもへの影響に配慮し、十分な引継ぎを行うとともに、民営化後も区として定期的な訪問や保育に関する相談、指導等を行います。
（３）実施に当たっては、保護者の意見・要望を聴きながら進めます。

しかし、実際に区が（１）～（３）を配慮しながら民営化計画を策定・実施するのか大きな疑問を抱かざるを得ません。平成２５年４月に策定された「区立保育園の民営化に関する計画」でも「民営化に当たって配慮すべき事項」として、同様の点が列挙されていました。それにもかかわらず、民営化したばかりの園における不適切保育に関する保護者の訴えがあったという事実に対し、①区側が本当に把握していなかったのか、②把握していたのにあえて保護者説明会の場で情報公開しなかったのか、どちらにしても大いに問題があると考えます。
素案を熟読し、説明会にも出席しましたが、すでに民営化された園での質の担保が十分なのか、問題が起きた際に区が適切に対処しているか等についての情報に乏しく、不安が募る一方です。区は「民営化は保護者の理解・協力のもと進めていくべき」と繰り返していますが、そのためには過去の民営化の検証・情報公開が不可欠です。

これまで区に対し、区内保育園の実態、保育士の離職率や待遇について質問を重ねてきましたが、明確な回答が得られていません。都内では保育士不足が常態化しており、保育士の労働環境・体制の不備は園児の安全に直結する問題です。内閣府は平成２７年度より「教育・保育施設等における事故報告集計」、平成２９年度より「幼稚園・保育所・認定こども園等の経営実態調査」の公表を始めました。区も私立園の運営を事業者任せにして状況の公表をためらうのではなく、現状把握に真摯に向き合うべきではないでしょうか。
私たちは日々子どもと向き合ってくださっている保育士さんや特定の園が批判されることは望んでおらず、実態調査を踏まえて改善点が明らかになることで、区全体の保育の質がより高くなることを願っています。

【陳情事項】

上記の理由から、区に対して以下の調査・公表を求めます。

1　目黒区内の保育園において平成２９年４月以降現在まで、区が把握している不適切保育や事故の件数、内容について、公立園、私立園（社会福祉法人、株式会社等の経営主体別に）、小規模保育所、民営化園（中目黒どろんこ保育園、しいのき保育園、双葉の園ひがしやま保育園、目黒保育園、中目黒駅前保育園）それぞれについて。

2　１の不適切保育や事故などが起きた際に、区がどのように対処し、改善策を講じたのか。

3　目黒区内の私立園（小規模保育所を含む）での保育士の賃金について、公費で出ている額（公定価格に国や自治体の処遇改善費を足したもの）と、実績（保育士が実際に受け取った賃金）。

4　これまでに民営化した５園について、公設公営時と、民営化後の職員の配置状況、保育士の平均賃金、サービスがどのように変わったのか。

5　これまでに民営化した５園について、民営化の実施に当たり①どのように保護者の意見・要望が反映されたのか、②民営化後に区が定期的に訪問、相談、指導を行った際に気づいた点や保護者からの意見について。東京都による第三者評価は１園でしか実施されていないとのことだが、目黒区として独自に保護者向けアンケートやヒアリングを実施していれば、その結果について。

6　目黒区内の保育園に勤める保育士の平均勤続年数を公立園、私立園（小規模保育所含む。社会福祉法人、株式会社等の経営主体別に）それぞれについて。

上記５に関しては、目黒区の調査を実施していないのであれば、今からでも現場の保育士・保護者の声を聴き、早急に民営化の検証を行ってください。上記１～６の調査は来年１月に予定している民営化計画の策定の前の公表を望みますが、時間的に厳しい場合は、調査が終了したものから順次、区のホームページ、区報等で区民に向けて広く公表してください。上記事項すべての調査・回答が難しい場合は、可能な範囲で情報を公開してください。